

1-1. 主な景観施策の実績 (令和4年度末時点)

「景観づくりマスタープランの実現に向けた取組み(4つの柱)」に沿って、カテゴリ整理・カテゴリ毎に事業概要の説明。(各カテゴリの成果指標は27頁以降に記載)

| 景観 MP 実現に向けた取組み【4つの柱】 | カテゴリ | 頁 | 内容 |
|-----------------------|------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------|
| ①届出・協議による景観誘導 | (1)景観法に基づく届出 | 4 | 景観計画に示す「届出対象行為」に該当する案件は、景観法第16条に基づく届出行為を行い、景観計画・景観形成基準の適合確認・協議を実施 |
| | (2)屋外広告物デザイン協議 | 5 | 一般広告(屋外広告物条例第11条の規定による)／車体広告・バス停広告(指導要綱による)のデザイン協議 |
| | (3)景観計画の変更 | 6 | コンパクトなまちづくりや地域の特性を踏まえ、おもてなしの視点をもった景観づくりに対応するため、景観重点整備地区の追加、拡大及び景観形成基準の見直し等実施 |
| | (4)景観アドバイザー制度 | 7 | 良好な都市景観の形成を図るため、公共事業や大規模な建築物の計画・設計等に対し、専門的見地(景観アドバイザー委員)から指導・助言する制度 |
| ②景観資源の保全・活用(保全) | (5)景観重要建造物・都市景観資源 | 8 | 景観重要建造物:景観法に基づく指定制度 都市景観資源:景観条例に基づく指定制度 |
| | (6)木屋瀬地区歴史的まちなみ保全 | 9 | 歴史的建造物等の保全に伴う修理修景の助成制度 |
| ②景観資源の保全・活用(活用) | (7)景観冊子(ARCHITECTURE OF KITAKYUSHU～時代で建築をめぐる～) | 10 | 市内の魅力ある建築や景観について、時代と場所を切り口として写真を中心に紹介する冊子 |
| ③景観づくりの普及啓発 | (8)小倉あかり倶楽部 | 16 | 小倉都心部の夜間景観の魅力向上事業として発足 |
| ④市民・事業者等の主体的な景観づくりの促進 | (9)関門シネマティックシティ | 17 | 関門景観条例制定20周年(R3)を契機に関門地域の魅力的な景観資源を掘起し発信する事業 |
| | (10)北九州市都市景観賞 | 18 | 個性豊かで魅力ある都市景観の向上に寄与する建築物やまちなみ等を表彰する制度。平成11年度から概ね3年毎に実施、R3年度で9回目を迎えた。 |
| | (11)地域景観プロジェクト | 20 | 折尾まちづくり記念館、その他多様な主体が参画・連携した景観づくり活動 |
| | (12)北九夜行 | 21 | 日本新三大夜景都市認定(全国1位)を契機に魅力的な夜間景観資源を体感し、発信する事業 |
| | (13)景観教育 | 22 | 景観まちづくり学習助成事業を活用した景観まちづくり学習 |
| | (14)その他景観づくりの推進 | 23 | 特に「市民・事業者の主体的な景観づくりの促進」を推進する取組み |
| | (15)戦略的な情報発信 | 26 | 観光・MICE・各種イベント等の機会を利用、多様な広報手段や広報ツールを活用した戦略的な情報発信 |

※【ソフト的要素事業:企画事業】

「(7)景観冊子～(15)戦略的な情報発信」については、別紙1:景観施策/企画事業・ロードマップも参照

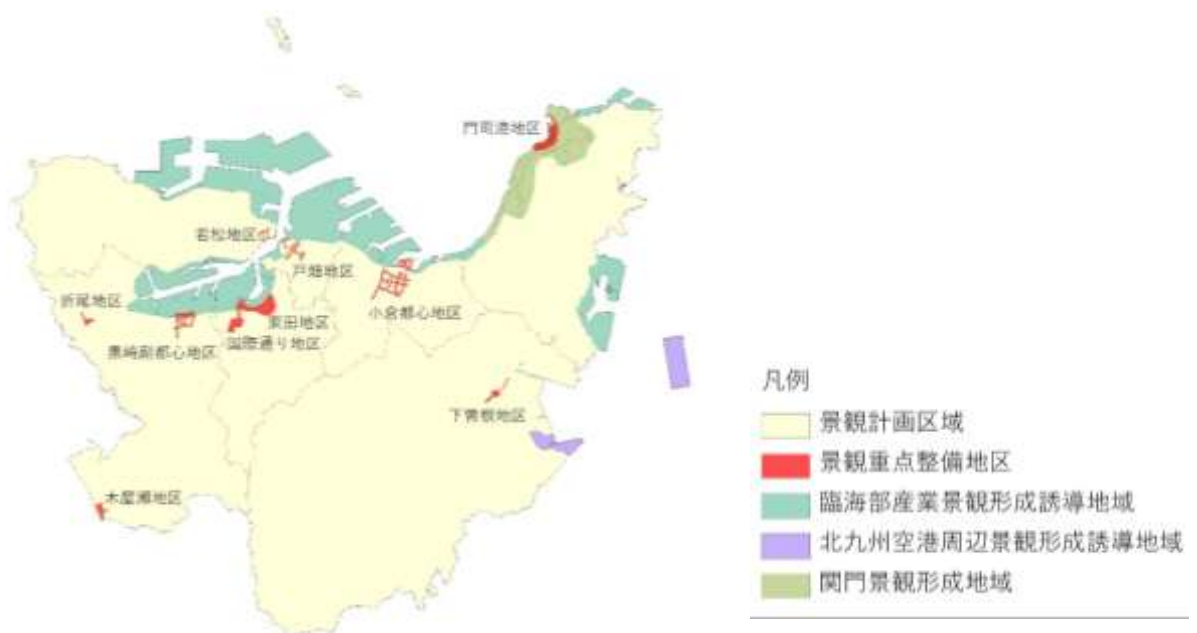
(1) 景観法に基づく届出

●景観法第 16 条に基づく届出行為であり、北九州市景観計画に示す各区域・地域の「届出対象行為」に該当する建築物等は、届出を通して、景観計画・景観形成基準との適合確認・協議を行う。

●DX化の取組み(市民の利便性向上や業務の効率化:新型コロナウイルス感染症対策)

令和 2 年 11 月より、郵送やメールによる提出を可能とした。(押印廃止:自筆署名の場合のみ)

| 景観計画区域(北九州市全域:地先公有水面を含む) | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------|-------|------|--------|------|---------|-------|------|------|
| <p>景観重点整備地区 (10 地区)</p> <p>都市の顔づくりを進める地区、歴史や風土に根ざした良好な景観が形成されている地区等で、きめ細かな基準による規制・誘導等によりまちなみの景観の向上を図る必要がある地区(景観形成拠点)</p> | <table border="0"> <tr> <td>門司港地区</td> <td>小倉都心地区</td> </tr> <tr> <td>下曾根地区</td> <td>若松地区</td> </tr> <tr> <td>国際通り地区</td> <td>東田地区</td> </tr> <tr> <td>黒崎副都心地区</td> <td>木屋瀬地区</td> </tr> <tr> <td>折尾地区</td> <td>戸畑地区</td> </tr> </table> | 門司港地区 | 小倉都心地区 | 下曾根地区 | 若松地区 | 国際通り地区 | 東田地区 | 黒崎副都心地区 | 木屋瀬地区 | 折尾地区 | 戸畑地区 |
| 門司港地区 | 小倉都心地区 | | | | | | | | | | |
| 下曾根地区 | 若松地区 | | | | | | | | | | |
| 国際通り地区 | 東田地区 | | | | | | | | | | |
| 黒崎副都心地区 | 木屋瀬地区 | | | | | | | | | | |
| 折尾地区 | 戸畑地区 | | | | | | | | | | |
| <p>臨海部産業景観形成誘導地域 (12 地区)</p> <p>臨海部の産業景観として、比較的広範囲にわたり特徴的な景観を有する地域で、特に良好な都市景観の形成を図る必要のある地域</p> | | | | | | | | | | | |
| <p>北九州空港周辺景観形成誘導地域</p> <p>北九州空港周辺において、比較的広範囲にわたり特徴的な景観を有する地域で、特に良好な都市景観の形成を図る必要のある地域</p> | | | | | | | | | | | |
| <p>関門景観形成地域</p> <p>関門海峡に面し、身近に対岸を意識できる、または両岸を一体的に認識できる地域のうち、関門景観の形成を積極的に推進していく地域</p> | | | | | | | | | | | |



(2) 屋外広告物デザイン協議

●屋外広告物デザイン協議の制度概要

デザイン協議とは、屋外広告物を景観上重要な地区(景観重点整備地区、景観形成誘導地域(北九州空港周辺景観形成誘導地域)、関門景観形成地域)に掲出する際に必要となる制度。

この制度は、北九州市屋外広告物条例第 11 条第 3 項に基づいており、屋外広告物を掲出する 30 日前までに北九州市景観計画との適合性について協議を行うものである。

また同条例 11 条の規定による屋外広告物だけでなく、車体広告(ラッピング等)やバス停広告については同条例及び配慮事項・審査方法を定めた指導要綱を策定し、デザイン協議を行っている。

屋外広告物のデザイン協議件数は、近年概ね 100 件／年程度となっている。

(3) 景観計画の変更

●景観計画とは

「北九州市景観計画」とは、北九州市景観づくりマスタープランに則して、本市の良好な景観形成を図るため、景観法第 8 条に基づいて策定する計画である。建築物等の新築や改築、色彩の変更等が行われる場合に、形態又は色彩、その他の意匠等の景観形成基準に則し、届出を行うことによって、景観誘導を図るもの。

改定版が令和 2 年 4 月 1 日に告示され、同年 10 月 1 日から施行された。

●変更の目的

平成 31 年 4 月に改定した北九州市景観づくりマスタープランに即し、

- ① コンパクトなまちづくりを踏まえた景観づくり [景観形成拠点]
- ② 地域特性を活かした景観づくり [景観形成基準の見直し]
- ③ おもてなし(観光まちづくり)の視点をもった景観づくり [夜間景観の推進]

等に対応するため見直しを行った。

●令和 2 年度改定の主な変更点

景観重点整備地区の追加（折尾地区・下曾根地区）等

都市・地域の顔づくりとして、重点的に景観形成を図るための「景観重点整備地区」に折尾、下曾根の 2 地区を新たに追加(計 10 地区)。合わせて、東田地区の一部区域を拡大。

景観計画区域の届出対象の拡大

郊外の幹線道路沿いに立地する店舗等の景観誘導のため、景観計画区域における届出対象規模を延べ面積 3,000 m²超から 1,000 m²超に変更。

景観形成基準の見直し

「地域特性を活かす景観づくり」や「来訪者へのおもてなしの視点をもった景観づくり」を推進させる等、きめ細かな景観形成要素の設定や夜間景観基準の追加、色彩基準の強化等、景観形成基準を充実。

(4) 景観アドバイザー制度

●景観アドバイザー制度

「北九州市景観アドバイザー制度」は良好で質の高い都市景観の形成を推進するため、建築物等の計画策定や事業実施に関して、景観に係る専門家から指導・助言を行う制度。(概ね毎月1回 20日前後に開催)近年は40件/年を目標に設定し、概ね達成している。

・景観アドバイザーの専門分野:建築デザイン・都市緑化・景観デザイン・照明・色彩 など

●新型コロナウイルス感染症の影響や活用促進として以下の取組みを実践

- ① 対面会議を改め、基本書面会議
- ② kintone を活用し、受付業務の電子化を実践(令和4年5月供用開始)

(5) 景観重要建造物・都市景観資源

●景観重要建造物

景観法第 19 条に基づき、良好な景観の形成に重要な建造物で、地域の自然、歴史、文化等からみて、その外観が景観上の特徴を有するものについて、所有者の意向を踏まえ、市景観審議会の意見聴取等を経て市が指定するもの。

<指定物件:5 件>平成 25 年度指定

- ・朽木ビル
- ・石炭会館
- ・八幡製鐵所関連施設(旧本事務所、修繕工場、旧鍛冶工場)
- ・北九州銀行門司支店
- ・NTT 西日本門司ビル



石炭会館



NTT 西日本門司ビル

※当初、若戸大橋も含まれていたが、令和 4 年 2 月 9 日に若戸大橋が国の重要文化財(建造物)に指定されたため、景観法第 19 条第 3 項に基づき、令和 4 年 2 月 22 日に指定解除

・指定について :景観重要建造物に指定されると、改築等現状変更に対する規制や所有者の管理義務が生じる。

・景観重要建造物への助成制度 … 外観等にかかる修理費用:補助率 1/2、上限 600 万円

●都市景観資源

北九州市都市景観条例第 28 条に基づき、市民に親しまれ都市景観の形成上、価値を有する建造物等を、市景観審議会の意見聴取等を経て市が指定するもの。

<指定物件:8 件>平成 25 年度指定

- ・景観重要建造物の 5 件
- ・若戸大橋と洞海湾
- ・門司港駅
- ・九州鉄道記念館



若戸大橋と洞海湾



九州鉄道記念館

(6) 木屋瀬地区歴史的まちなみ保全

●木屋瀬地区の概要

木屋瀬地区は、小倉から長崎をつなぐ旧長崎街道の宿場町であり、市内では江戸期の面影を色濃く残す地区。地元住民たちは、この地に暮らす「木屋瀬人」として、街の情緒を残すために建築協定を締結し、まちなみ保全に取り組んでいる。

行政は、この地元住民の取組みを後押しし、まちなみ環境整備事業(国の補助金)を活用し、道路の美装化、公園整備などを行うとともに、建築協定に加入した住宅等への修理修景助成を行っている。

令和2年度に、助成制度の活用度を高めるため、補助要件の見直しを行い(建築協定の区域要件を撤廃。現在は、長崎街道及び祇園町通り区域が補助対象区域)、地元住民に対し周知を行っている。



●修理修景助成の概要

- ・修理:外観を復元または保存するための改築・修繕など :補助率 1/2、上限 600 万円
- ・修景:外観を歴史的景観と調和させた、新築・増築・改築・修繕など :補助率 1/2、上限 300 万円

●修理修景助成の実績

- ・平成 10 年度に制度施行、延べ 50 件(修理 19 件、修景 31 件)
- ・平成 27 年度を最後に補助実績なし(制度活用に関する地元住民への周知は継続中)

(7) 景観冊子 (ARCHITECTURE OF KITAKYUSHU～時代で建築をめぐる～)

景観冊子の作成【令和1年度】

●日本近代産業の発展の一翼を担ってきた北九州は、世界遺産や文化財、近代化産業遺産等、評価の高い魅力ある建築が数多く存在する。市内の魅力ある建築や景観について、時代と場所を切り口として、写真を中心に紹介する景観冊子を作成。

- ・日本語版(A4/A5判)各1,000部:2,000部
- ・英語版(A4/A5判)各1,000部:2,000部 ※随時増刷



●観光・MICE・各種イベント等の機会を利用し配布

東アジア文化都市関連、世界体操新体操、雇用政策関連、観光関連企画事業、若戸大橋ウォーク、2022 Horasis アジアミーティングなど

景観冊子を啓発する媒体(電子ブック・POP・ステッカー)の作成【令和2年度】

●景観冊子の電子ブックを作成。また電子ブックに誘導するQRコードを付したPOP、ステッカーを作成、配布することで、景観冊子の閲覧誘導を諮る。

- ・電子ブックは市のホームページに掲載
- ・POPは小倉ホテル業組合へ配布(カウンターやレストラン等に設置):電子ブックリンク掲載
- ・ステッカーはタクシー協会に配布(タクシーに貼る):電子ブックリンク掲載



景観冊子・電子ブック



POP



ステッカー

●景観冊子「ARCHITECTURE OF KITAKYUSHU～時代で建築をめぐる～」をテーマに民間 Web サイトを活用、北九州市の魅力的な景観資源(建築物等)を発信、効果的に景観づくりを推進。

●企画内容

- ・担当者インタビュー記事を含む5つのカテゴリで記事作成
- ・北九州家守舎が運営する Web サイト「real local」に記事連載(ユーザー3.5 万人/月)
- ・記事連載にあわせ、電子ブックへのリンク掲載を行う

<連載記事内容>

- ① 建築好きが注目するまち・北九州市(担当者インタビュー)
- ② 個性派建築のミクスチャーな風景
- ③ レトロ×ポストモダンの魅力
- ④ マニア必見！名橋の造形美
- ⑤ 美しき木造建築の世界



①建築好きが注目するまち・北九州市



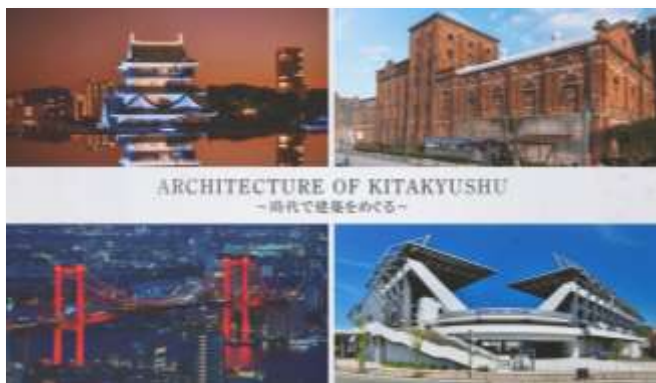
②個性派建築のミクスチャーな風景



③レトロ×ポストモダンの魅力

●景観冊子の素材を使い、スライドPR動画を制作

- ・30秒バージョン :小倉駅液晶マルチビジョン放映、YouTube 配信 他
- ・15秒縦型バージョン:小倉駅ペDESTリアンデッキ縦型サインエージ放映 他



景観冊子を活用したまちあるき【令和3年度】

●景観冊子『ARCHITECTURE OF KITAKYUSHU～時代で建築をめぐる～』の素材を活用し、市民参画の企画イベントを実施することで、景観冊子の認知拡大を目指すとともに、市民のみならず市外在住者向けにも北九州市の魅力を発信。

●企画①【若松編：学生から見る街のここが面白い！】

「エモーショナルなまち歩き」をコンセプトに、北九州市立大学地域創生学群の生徒が3グループに別れ、まち歩きを実施。各グループがそれぞれ記事を作成。

- ・Aグループ 旧古河鉱業若松ビル、上野ビル、その他周辺店舗
- ・Bグループ 料亭金鍋、石炭会館、その他周辺店舗
- ・Cグループ 朽木ビル、若戸大橋、その他周辺店舗



若松編

●企画②【小倉編：紫川でカヌー体験・川から見る個性豊かな橋と小倉のまち】

小倉のまちのコンシェルジュ機能を担うタンガテーブル(ゲストハウス)による小倉のまちのおもしろスポットを巡るまち歩きとともに、アクティビティとして紫川カヌー体験(紫川の橋を下から見みる!)を実施。

- ・西南女学院と企画運営
- ・参加者は西南女学院の学生とゲストハウス宿泊者から募集



小倉編

●企画③

- ・各まちあるきの記事を作成、北九州家守舎が運営するWebサイト「real local」及びSNSに掲載
- ・北九州市が運営する定住移住関連サイト「北九州ライフ」に記事掲載

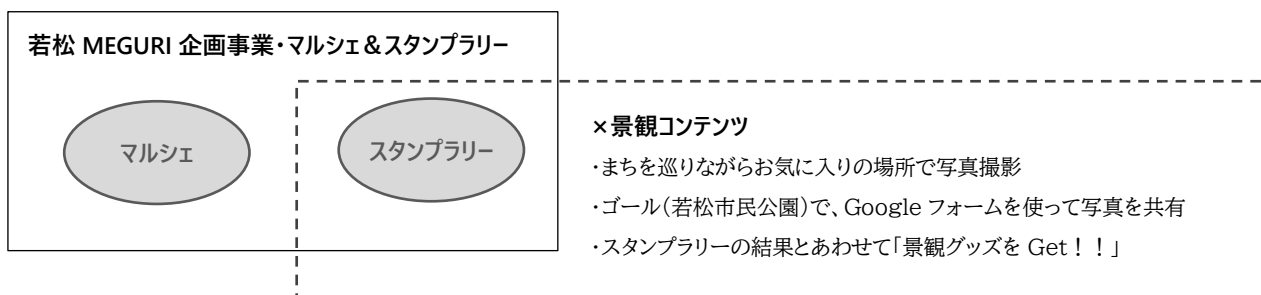


Webサイト「real local」

景観資源(若戸大橋ウォーキング関連)の啓発【令和4年度】

- 若戸大橋の重要文化財指定(令和4年2月9日指定)を契機に、「北九州市都市景観賞」や「景観冊子」を啓発し認知拡大を図る。
- 景観づくり主体との連携、市民参画を視点とした景観資源を啓発する企画事業を実施、地域の魅力的な景観資源を発掘・発信し、市民に対する景観意識の醸成を図る。

企画①：景観資源の収集、景観グッズ(エコバック、ポストカード、景観冊子)の配布



企画②

スタンプラリーのスポットで都市景観賞及び景観冊子の素材を使ったパネルを展示



企画③

企画①で収集した素材をもとにパネルを作成、パブリックスペースを活用しパネル展示



企画④

スタンプラリーパンフレットに都市景観賞及び景観冊子(QRコード)を紹介する広告をインサート
(新聞折込配 6,000 部/小学校配布 11,340 部
その他 12,660 部)



企画⑤

ノベルティ(エコバック)と景観冊子の素材を活用したポストカードを作成・配布



●市内の魅力ある建築や景観を紹介する景観冊子啓発の一環として、近代建築物と歴史的背景をテーマとする景観講座を開催し、都市景観の普及啓発を図るもの。

●企画内容

①建築分野で活躍する九州女子大学・佐久間教授から、北九州の都市変遷の歴史・背景・物語をたどりながら、そこに創り出された近現代建築の風景が持つ意味や地域資源としての価値・可能性についてのレクチャー実施

②2020年、えもとりえさん主演で市が制作した動画「わたしの北九州」を再上映し、ビジュアルイメージによる北九州の都市史と近現代建築の風景について学ぶ

③特別企画として、明専の森(キャンパス内)にある著名な建築物を巡る施設散策を実施

■スケジュール

| | |
|---------------------------|-----|
| 第一部 「わたしの北九州」再上映と経緯説明 | 45分 |
| 第二部 景観レクチャー(佐久間教授) | 70分 |
| 特別企画 明専の森(九工大戸畑キャンパス)施設散策 | 70分 |

■参加者数(申込状況)

| | |
|-------------|---------------------|
| 講座(第一部・第二部) | 95名(応募者137名・招待者15名) |
| 特別企画 | 46名(応募者52名) |

●連携企画

①九州職業能力開発大学の景観づくり活動のプレゼン(担い手育成プログラムの企画)

当大学がカリキュラムの一環として作成された「小倉の魅力を探す街歩きマップ」を啓発するプログラムを企画・実践。景観レクチャー終了後に時間を提供し、当該マップ等、景観づくり活動のプレゼン実施

②ぐるリッチ(YouTube)との連携(既存メディアを活用し、都市景観資源の普及啓発を実施)

今回、再上映を果たした「わたしの北九州」(日本語版・英語版、中国語版、韓国語版)をぐるリッチYouTubeチャンネルにて同時配信



景観レクチャーの様子



明専の森施設散策の様子



会場にて都市景観賞のパネル展示

(8) 小倉あかり倶楽部

小倉あかり倶楽部(小倉都心部の夜間景観魅力向上事業)【令和2年度～】

●背景

平成29年10月、「小倉都心地区夜間景観ガイドライン」を作成、公民に対し、あかりに資する取組み促進を呼びかけるとともに、小倉あかり倶楽部を立上げ、積極的な広報活動を行ってきた。

(ガイドラインに基づく公共施設の夜間景観の取組み状況:別紙2(小倉都心地区夜間景観整備事業の取組について)を参照)

令和2年10月、小倉あかり倶楽部の更なる発展を目指し、まちづくり団体や事業者からなる「小倉あかり倶楽部実行委員会」を発足、①広報 ②既存イベントとの連携による認知度上昇と機運向上を図りつつ、③あかりに資する景観づくり活動に取り組むエリアの掘起しと支援を実施。

●主な活動内容

| 年度 | 活動内容 | 登録事業者 (累計) |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| R2 | <ul style="list-style-type: none"> ・小倉あかり倶楽部専用HP・SNSの開設 ・小倉イルミ協働広報 ・事業者アンケート、登録事業者へのインタビュー ・小倉あかり倶楽部通信 vol.3 発行(登録団体紹介・活動紹介など) | 21 |
| R3 | <ul style="list-style-type: none"> ・専用HP・SNSを活用した小倉のまちの魅力発信 (公民あかりの取組みや活動紹介など) ・小倉イルミ、小倉城竹あかり連携事業(ちずあそび・竹あかりプレイイベントなど) ・エリア活動掘起し支援(京町室町エリア) ・小倉あかり倶楽部通信 vol.4 発行(登録団体紹介・活動紹介など) | 38 |
| R4 | <ul style="list-style-type: none"> ・専用HP・SNSを活用した小倉のまちの魅力発信 (公民あかりの取組みや活動紹介など) ・学生モニター調査(小倉の夜のあかり) ・エリア活動掘起し支援(京町室町エリア・魚町サンロード) ・Welove小倉協議会と共同開催「小倉クリスマスマーケット」 | 51 |



小倉城竹あかりプレイイベント



ちずあそび(CATSジャパン連携)



京町室町エリア活動(勉強会)

(9) 関門シネマティックシティ

関門シネマティックシティ(関門連携事業:関門景観協議会主催)【令和3年度~】

●背景/概要

下関市・北九州市両市民の共同の貴重な財産である美しい関門景観を守り、将来に受け継いでいくため、平成13年に全国で初めて県境を越え、同一名称、同一条文による「関門景観条例」を制定、令和3年に20周年を迎えた。

これを契機に関門エリアを一つの都市と捉え、映画のシーンを連想するまちなみや様々なストーリーをもつ「関門シネマティックシティ」を発足、様々な活動を通して、関門エリアの魅力を発信する。

●事業の枠組み

関門シネマティックシティ(歴史ある関門地域・映画に出てきそうなまちなみやストーリー)

| <u>Phase1(2021)</u> | <u>Phase2(2022)</u> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">・特設 Web サイト作成・動画作成(シネマティック VLOG)・まちあるきマップ第1弾制作・フォトワークショップ(プロモ) | <ul style="list-style-type: none">・まちあるきマップ第2弾制作・SNS 立上げ/記事作成・掲載・SNS フォトキャンペーン(プロモ) |



フォトワークショップ



まちあるきマップ(第1弾)

(10) 北九州市都市景観賞

第9回北九州市都市景観賞の開催【令和3年度】

●事業概要

個性豊かで魅力ある都市景観の向上に寄与する建築物やまちなみ等を表彰することにより、広く市民に景観に対する意識を高めてもらうため、平成11年度から概ね3年毎に実施しており、令和3年度で9回目を迎えた。今回(第9回)、より多くの市民参加を促し、魅力ある景観づくりに関心を持ってもらうため、夜間景観をテーマとした「市民が選ぶまちなみ10選」(フォトコンテスト)を実施。

●事業内容

<都市景観賞>

- ・募集期間 令和3年4月30日～6月30日【応募総数:158件】
- ・受賞作品 都市景観賞4件・奨励賞6件 計10件を表彰
- ・表彰式 令和4年2月5日に北九州芸術劇場6F小劇場にて表彰式を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。(表彰グッズ等は別途郵送対応)

<フォトコンテスト>

- ・募集期間 令和3年4月30日～6月30日【応募総数:547件】
- ・市民投票 令和3年8月16日～6月30日【投票数:941票】

●第8回からの変更点

| 変更点 | 内容 |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| 運營業務の一括発注 | 事業のトータルコーディネート |
| 協力団体に「北九州総合デザイナー協会(KDA)」を招集 | 民間事業者のアイデア、ノウハウ活用 |
| 後援団体に「北九州建築デザインコミュニティtonica」を招集 | 大学生との連携、アイデア収集 |
| 表彰式は簡素化し、情報発信を強化 | 関係者のみの表彰式へ 受賞作品紹介動画の作成、各種媒体で放映・啓発 |
| コロナ渦を踏まえた運営(電子媒体の活用) | 専用HP/SNSによる募集・投票対応 |

●情報発信の取組み



小倉駅 JAM 広場
(景観広告バナー)



小倉駅 JAM 広場
(JAM ビジョン)



NCB 街かどギャラリー

第9回北九州市都市景観賞等の啓発【令和4年度】

●事業概要

「第9回北九州市都市景観賞」受賞作品や「関門景観魅力発信プロジェクト」等のパネル展示を行うことにより、本市の良好な景観を市民に幅広く知ってもらうことで、景観に対する意識高揚を図るものである。

●パネル展示会場

- ①折尾まちづくり記念館(オリオンテラス) ②ウェル戸畑交流プラザ
③グリーンパーク ④門司港駅 ⑤北九州空港

●展示パネル(抜粋)

都市景観賞受賞作品



関門景観魅力発信プロジェクト



●パネル展の様子



折尾まちづくり記念館



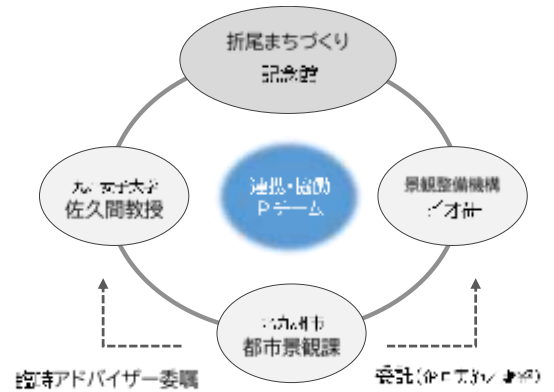
グリーンパーク

(11) 地域景観プロジェクト

地域景観プロジェクト in オリオンテラス【令和4年度】

●事業概要

新市街地として開発が進み、まちづくりの機運が高まる折尾地区をフィールドに、まちづくりやコミュニティのプラットフォーム機能を担う折尾まちづくり記念館と連携、多様な主体の参画促進、地域連携(学生、団体、事業者等)、民間アイデア・ノウハウ活用等の観点から、相応しい有識者を加えプロジェクト「地域景観プロジェクト in オリオンテラス」を発足、効果的に景観づくり活動の推進を図る。



●プロジェクトチーム

折尾まちづくり記念館／NPO 法人北九州ビオトープ・ネットワーク研究会
九州女子大学・佐久間教授／都市景観課

●企画内容

- ・まちの景観スポットマップづくり
- ・景観スポットまちあるき&写真展

<令和4年度実施内容>

学生や有識者とフィールドワーク等実施し、風景、建物、まちなみ、歴史、文化、裏路地、飲食店など「まちの景観スポットマップづくり」の素材となる折尾地区の個性的で魅力的な景観スポットを調査・レポート化



プロジェクト会議



フィールドワーク

(12) 北九夜行

北九夜行(夜間景観の魅力発信)【令和4年度】

●事業概要

日本新三大夜景都市として全国1位に認定(令和4年3月)された本市の魅力的な夜間景観資源(都市ブランド)を市民自ら体感、夜のまちへ訪れるきっかけを創る「夜活」(夜の活動を促す)をコンセプトに市民参加型の企画事業を実施、本市の魅力的な景観資源を広く発信、観光振興とともに景観に対する市民の意識向上やシビックプライドの醸成を図る。

●企画内容

・ナイトフォトウォーク

モデルをアサイン、一緒に夜のまちを歩き、あかりスポットで写真を撮りながら(モデルを被写体に)、夜の魅力的な景観を体感

・コミュニケーションブースの設置

小倉駅南口ペDESTリアンデッキにコミュニケーションブースを設置。

ナイトフォトウォーク前のワークショップ/通行人をターゲットに光跡写真の体験企画/ホットドリンクの提供を実施

・小倉城ナイトキャッスルとの連携

夜活の促進を狙い、夜間景観と相性のよい小倉城ナイトキャッスルと連携。

プレゼント企画として、ナイトフォトウォーク参加者に小倉城ナイトキャッスル入場券を贈呈

・民間 Web メディア等活用した情報発信

民間 Web メディア(門司港レトロインフォメーション)や既存 SNS を活用しプロモーション、イベントの記録や夜間景観スポットを PR・発信



コミュニケーションブース



ナイトフォトウォーク

(13) 景観教育

景観まちづくり学習【毎年度】

●事業概要

子どもたちの景観に対する関心を喚起し、美しいまちを育成・継承していく動機付けとなることを目的とし、平成26年度以降、毎年小学校1校において景観まちづくり学習に取り組んでいる。

●事業内容

景観まちづくり学習は、小学校の総合的な学習の時間を活用し、国土交通省が作成した「学校における景観まちづくり学習の手引き」に記載されている11の「モデルプログラムを使用して実施している。なお、本取組みは一般財団法人都市文化振興財団の助成制度を活用。(助成額:10万円/校)

●事業の経緯

| 年度 | 学校 | | 区 | モデルプログラム名 |
|------|---------|-------|------|-------------------------------------------|
| H 26 | 上津役小学校 | 6年3学級 | 八幡西区 | わたしたちのまちに言葉の贈り物 |
| H 27 | 大蔵小学校 | 3年2学級 | 八幡東区 | 地域景観プランナーになろう |
| H 28 | 松ヶ江北小学校 | 5年1学級 | 門司区 | 地域景観プランナーになろう |
| H 29 | すがお小学校 | 4年1学級 | 小倉南区 | よくよく見れば、あの場所に・地域カルタをつくろう |
| H 30 | 曾根東小学校 | 6年2学級 | 小倉南区 | 地域景観プランナーになろう |
| H 31 | 木屋瀬小学校 | 5年2学級 | 八幡西区 | 地域カルタをつくろう ※地域を題材にした劇をつくり保護者や地域の方に発表 |
| R2 | 市丸小学校 | 6年1学級 | 小倉南区 | 地域景観プランナーになろう ※お糸池に自生するガシャモクの調査活動と情報発信 |
| R3 | 花尾小学校 | 3年3学級 | 八幡東区 | 地域景観プランナーになろう ※伝統芸能の「前田祇園山笠」に関連する学習 |
| R4 | 合馬小学校 | 4年1学級 | 小倉南区 | 地域カルタをつくろう ※地域の良さを伝えるパンフレットを作成 |



花尾小学校での活動状況(R3)



合馬小学校での活動状況(R4)



(14) その他景観づくりの推進

関門景観魅力発信プログラム【令和3年度】

●事業概要

地域のまちづくり団体と地元学生が協働・制作(企画・出演)している地元ローカルメディア(コミュニティFM)「コラボ・タウンネットワーク」を活用し、関門景観の魅力を広く発信するもの。

●企画内容

①地元学生(北九州市立大学地域創生学群・西田ゼミ)がプレイヤーとなり、関門地域でフィールドワーク(視点場視察、写真撮影)を実施、レポート化。地元 FM ラジオ番組「コラボ・タウンネットワーク」を活用して関門景観の魅力を発信。



フィールドワークの様子



フィールドワークの様子



コラボ・タウンネットワーク収録の様子

②レポートはパネル化し、地域のコミュニティスペース「モノはうす(門司区、門司港エリア:栄町商店街内)」に展示し、また当学生が運営する SNS アカウント「モノはうす」に記事を掲載するなど、幅広い PR 活動を実施。



パネル



パネル展示(モノはうす)

●事業概要

地域・各種まちづくり団体等が行う景観に関する勉強会や、景観づくり活動に関する相談・支援等のために、必要に応じてアドバイザーを地域へ派遣する制度。

令和4年度から、景観アドバイザー名簿に登録されていない有識者や地域推薦等の専門家も臨時アドバイザーとして派遣可能とし、利用しやすい制度に見直しを行うとともに、地元自治会等を通じて広報するなど、積極的な活用促進を図ってきた。

●事例1:地域景観プロジェクト in オリオンテラス

折尾まちづくり記念館と連携、多様な主体の参画促進、地域連携(学生、団体、事業者等)、民間アイデア・ノウハウ活用等の観点から、臨時アドバイザーとして、九州女子大学・佐久間教授を派遣し「地域景観プロジェクト in オリオンテラス」を発足、効果的に景観づくり活動の推進を図っている。



●事例2:ケヤキテラス八幡

ケヤキテラス八幡が実施している JR 八幡駅前イルミネーション事業のイルミネーションに関する課題解決のため、イルミネーション事業に関する勉強会に景観アドバイザー委員(松下委員)を派遣し、夜間景観(ライトアップ等)に関する事例紹介や、地域性に沿った取り組みの提案などを行った。



●事業概要

九州職業能力開発大学校のカリキュラムの一環として実施された景観づくり活動(「小倉の魅力を探す街歩きマップ」の制作実習)を取り上げ、担い手育成の観点から以下のプログラムを企画・実践。

●企画内容

①別途開催した景観講座にて、当該活動を紹介するプレゼン機会を提供。また、制作したマップを参加者へ配布。

②当該学生による景観づくり活動取材、民間 Web サイト「real local」に掲載、景観づくり活動の啓発を行う。



(15) 戦略的な情報発信

●観光・MICE・各種イベント等の機会を利用した戦略的な啓発・PR／多様な広報手段や広報ツールを活用した情報発信

東アジア文化都市関連イベント／世界体操・新体操／2022 Horasis アジアミーティング／若戸大橋ウォーキング関連企画事業／北九州プレミアム夜景フェス／雇用政策関連事業／景観講座 他

小倉駅マルチビジョン、デジタルサイネージ／小倉城しろテラス／小倉駅バナー広告／小倉駅 JAM ビジョン／ぐるリッチ YouTube チャンネル／民間 Web サイト「real local」／NCB 街かどギャラリー／定住移住関連サイト

市政テレビ(今日の焦点・北九州)、JCOM 福岡つながる NEWS／アサデス



世界体操 PR ブース
(景観冊子の PR)



小倉城しろテラス
(都市景観賞受賞作品パネル展示)



NCB 街かどギャラリー
(都市景観賞受賞作品&関門 CC 紹介)



小倉駅 JAM 広場
(景観広告バナー)



小倉駅南北連絡通路階段
(景観ステップ広告)



小倉駅新幹線デジタルサイネージ
(景観冊子動画放映)



小倉駅 JAM ビジョン
(都市景観賞紹介動画放映)



小倉駅マルチビジョン
(景観冊子・関門 CC 動画放映)

【素材】

景観冊子(冊子・電子ブック・動画)／小倉あかり倶楽部(専用 HP・SNS・動画・通信)／関門シネマティックシティ(専用 HP・マップ・VLOG 動画)／都市景観賞(専用 HP・パンフレット・PR 動画)／北九夜行(専用 HP・SNS)

1-2. 各カテゴリーの成果指標

| 景観MP実現に向けた取組み 【4つの柱】 | カテゴリー | 成果指標の確認（ ■定量的成果指標 □定性的成果指標 ） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|----|---------------|--------|----|----|----|-----|------|----------|----|----|----|-----|-------|---------------|----|----|----|-----|-----|-----------------|----|-----|-----|-----|---|----------|----|----|----|---|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ①届出・協議による景観誘導 | (1)景観法に基づく届出 | <p>■届出実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>景観計画区域</td> <td>27</td> <td>38</td> <td>23</td> <td>29</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>景観重点整備地区</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>11</td> <td>35</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>臨海部産業景観形成誘導地域</td> <td>57</td> <td>45</td> <td>65</td> <td>49</td> <td>216</td> </tr> <tr> <td>北九州空港周辺景観形成誘導地域</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>関門景観形成地域</td> <td>26</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>6</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>131</td> <td>123</td> <td>116</td> <td>121</td> <td>491</td> </tr> </tbody> </table> <p>※区域が重なる場合の優先順位 ①関門景観形成地域／②景観重点整備地区／③景観形成誘導地域(臨海・空港)／④景観計画区域</p> | | R1 | R2 | R3 | R4 | 計 | 景観計画区域 | 27 | 38 | 23 | 29 | 117 | 景観重点整備地区 | 21 | 21 | 11 | 35 | 88 | 臨海部産業景観形成誘導地域 | 57 | 45 | 65 | 49 | 216 | 北九州空港周辺景観形成誘導地域 | 0 | 2 | 2 | 2 | 6 | 関門景観形成地域 | 26 | 17 | 15 | 6 | 64 | 合計 | 131 | 123 | 116 | 121 | 491 |
| | | R1 | R2 | R3 | R4 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 景観計画区域 | 27 | 38 | 23 | 29 | 117 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 景観重点整備地区 | 21 | 21 | 11 | 35 | 88 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 臨海部産業景観形成誘導地域 | 57 | 45 | 65 | 49 | 216 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 北九州空港周辺景観形成誘導地域 | 0 | 2 | 2 | 2 | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 関門景観形成地域 | 26 | 17 | 15 | 6 | 64 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 131 | 123 | 116 | 121 | 491 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2)屋外広告物デザイン協議 | <p>■協議実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋外広告物</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>車体広告</td> <td>31</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>29</td> <td>122</td> </tr> <tr> <td>バス停広告</td> <td>72</td> <td>37</td> <td>44</td> <td>62</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>132</td> <td>89</td> <td>106</td> <td>122</td> <td>449</td> </tr> </tbody> </table> | | R1 | R2 | R3 | R4 | 計 | 屋外広告物 | 29 | 23 | 29 | 31 | 112 | 車体広告 | 31 | 29 | 33 | 29 | 122 | バス停広告 | 72 | 37 | 44 | 62 | 215 | 合計 | 132 | 89 | 106 | 122 | 449 | | | | | | | | | | | | | |
| | R1 | R2 | R3 | R4 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外広告物 | 29 | 23 | 29 | 31 | 112 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 車体広告 | 31 | 29 | 33 | 29 | 122 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| バス停広告 | 72 | 37 | 44 | 62 | 215 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 132 | 89 | 106 | 122 | 449 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3)景観計画の変更 | <p>□令和2年度改定の主な変更点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観重点整備地区の追加(折尾地区・下曽根地区)等 ・景観計画区域の届出対象の拡大(届出対象規模:延べ面積3,000㎡超→1,000㎡超) ・景観形成基準の見直し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (4)景観アドバイザー制度 | <p>■活用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>景観アドバイザー制度の活用</td> <td>35</td> <td>42</td> <td>42</td> <td>40</td> <td>159</td> </tr> </tbody> </table> | | R1 | R2 | R3 | R4 | 計 | 景観アドバイザー制度の活用 | 35 | 42 | 42 | 40 | 159 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | R1 | R2 | R3 | R4 | 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 景観アドバイザー制度の活用 | 35 | 42 | 42 | 40 | 159 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ②景観資源の保全・活用(保全) | (5)景観重要建造物・都市景観資源 | <ul style="list-style-type: none"> ・景観重要建造物:若戸大橋が国の重要文化財に指定されたため、指定解除(R4.2) ・当該指定制度による追加指定なし(景観重要建造物:5件、都市景観資源:8件) ・当該指定に係る助成制度の実績なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (6)木屋瀬地区歴史的まちなみ保全 | <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業に係る助成制度の実績なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 景観MP実現に向けた取組み 【4つの柱】 | カテゴリー | 成果指標の確認（ ■定量的成果指標 □定性的成果指標 ） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------------------------------------|------------------------------------|----|---------------------------------------------|---------------------|----|----------------------------------------------------|------------------------------|----|------------------------------------------------------------|---------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| ②景観資源の保全・活用(活用) ③景観づくりの普及啓発 ④市民・事業者等の主体的な 景観づくりの促進 | (7) 景 観 冊 子 (ARCHITECTURE OF KITAKYUSHU～時代で建築をめぐる～) <table border="1" data-bbox="548 350 995 1210"> <tr> <td>景観冊子の作成</td> <td>R1</td> <td>■配布部数:4,163部(観光・MICE・各種イベント等の機会を利用し配布)</td> </tr> <tr> <td>景観冊子を啓発する媒体(電子ブック・POP ステッカー)の作成</td> <td>R2</td> <td>■景観冊子(電子ブック)閲覧数:日本語・3,212回/英語・798回(R3.3月より)</td> </tr> <tr> <td>民間 Web を活用した景観冊子の啓発</td> <td>R2</td> <td>■民間 Web サイト「real local」関連ページ閲覧総数:10,064回(R3.3.1より)</td> </tr> <tr> <td>景観冊子を啓発する媒体(スライドPR動画) の作成</td> <td>R3</td> <td>□小倉駅液晶マルチビジョン・小倉駅ペDESTリアンデッキ縦型デジタルサイネージにて放映、 YouTube 配信</td> </tr> <tr> <td>景観冊子を活用したまちあるき (若松&小倉)</td> <td>R3</td> <td>■民間 Web サイト「real local」関連ページ閲覧総数:3,924回 □団体連携:ゲストハウス(運営等)/水環境館(アクティビティ) □連携大学:北九州市立大学地域創生学群片岡ゼミ/西南女学院</td> </tr> <tr> <td>景観資源(若戸大橋ウォーキング関連) の啓発</td> <td>R4</td> <td>■スタンプラリー連携パンフレット(景観冊子へのQRリンク)の配布 ・新聞折込配:6,000部/小学校配布:11,340部/その他:12,660部 ■スタンプラリー参加者及びパネル展におけるアンケート回答者に景観冊子を贈呈 □団体連携:NPO 法人北九州ピオトープ・ネットワーク研究会、若松MEGURI</td> </tr> <tr> <td>景観講座(景観冊子の啓発)</td> <td>R4</td> <td>■景観レクチャー参加者:95名(応募137名)/明専の森施設散策参加者:46名(応募52名) ※景観冊子を贈呈(プレゼント企画) □九州職業能力開発大学校が実施した景観づくり活動(マップづくり)をプレゼンするプログラムを提供・実施</td> </tr> </table> | 景観冊子の作成 | R1 | ■配布部数:4,163部(観光・MICE・各種イベント等の機会を利用し配布) | 景観冊子を啓発する媒体(電子ブック・POP ステッカー)の作成 | R2 | ■景観冊子(電子ブック)閲覧数:日本語・3,212回/英語・798回(R3.3月より) | 民間 Web を活用した景観冊子の啓発 | R2 | ■民間 Web サイト「real local」関連ページ閲覧総数:10,064回(R3.3.1より) | 景観冊子を啓発する媒体(スライドPR動画) の作成 | R3 | □小倉駅液晶マルチビジョン・小倉駅ペDESTリアンデッキ縦型デジタルサイネージにて放映、 YouTube 配信 | 景観冊子を活用したまちあるき (若松&小倉) | R3 | ■民間 Web サイト「real local」関連ページ閲覧総数:3,924回 □団体連携:ゲストハウス(運営等)/水環境館(アクティビティ) □連携大学:北九州市立大学地域創生学群片岡ゼミ/西南女学院 | 景観資源(若戸大橋ウォーキング関連) の啓発 | R4 | ■スタンプラリー連携パンフレット(景観冊子へのQRリンク)の配布 ・新聞折込配:6,000部/小学校配布:11,340部/その他:12,660部 ■スタンプラリー参加者及びパネル展におけるアンケート回答者に景観冊子を贈呈 □団体連携:NPO 法人北九州ピオトープ・ネットワーク研究会、若松MEGURI | 景観講座(景観冊子の啓発) | R4 | ■景観レクチャー参加者:95名(応募137名)/明専の森施設散策参加者:46名(応募52名) ※景観冊子を贈呈(プレゼント企画) □九州職業能力開発大学校が実施した景観づくり活動(マップづくり)をプレゼンするプログラムを提供・実施 | * * * * * * * * * * |
| 景観冊子の作成 | R1 | ■配布部数:4,163部(観光・MICE・各種イベント等の機会を利用し配布) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 景観冊子を啓発する媒体(電子ブック・POP ステッカー)の作成 | R2 | ■景観冊子(電子ブック)閲覧数:日本語・3,212回/英語・798回(R3.3月より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 民間 Web を活用した景観冊子の啓発 | R2 | ■民間 Web サイト「real local」関連ページ閲覧総数:10,064回(R3.3.1より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 景観冊子を啓発する媒体(スライドPR動画) の作成 | R3 | □小倉駅液晶マルチビジョン・小倉駅ペDESTリアンデッキ縦型デジタルサイネージにて放映、 YouTube 配信 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 景観冊子を活用したまちあるき (若松&小倉) | R3 | ■民間 Web サイト「real local」関連ページ閲覧総数:3,924回 □団体連携:ゲストハウス(運営等)/水環境館(アクティビティ) □連携大学:北九州市立大学地域創生学群片岡ゼミ/西南女学院 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 景観資源(若戸大橋ウォーキング関連) の啓発 | R4 | ■スタンプラリー連携パンフレット(景観冊子へのQRリンク)の配布 ・新聞折込配:6,000部/小学校配布:11,340部/その他:12,660部 ■スタンプラリー参加者及びパネル展におけるアンケート回答者に景観冊子を贈呈 □団体連携:NPO 法人北九州ピオトープ・ネットワーク研究会、若松MEGURI | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 景観講座(景観冊子の啓発) | R4 | ■景観レクチャー参加者:95名(応募137名)/明専の森施設散策参加者:46名(応募52名) ※景観冊子を贈呈(プレゼント企画) □九州職業能力開発大学校が実施した景観づくり活動(マップづくり)をプレゼンするプログラムを提供・実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (8)小倉あかり倶楽部 (小倉都心部の夜間景観魅力向上事業) | R2 □連携団体: Welove 小倉協議会/北九州まちづくり応援団/小倉タウンツーリズム/北九州 家守舎/ベースメント北九州/FM KITAQ/西南女学院・今村教授 □連携大学:北九州市立大学地域創生学群・片岡ゼミ/西南女学院 □地域の景観づくり活動の掘起し:京町銀天街・室町通り/魚町サンロード ■小倉あかり倶楽部登録事業者数:51事業者(令和4年度末時点累計) ■専用HP閲覧数:7,423回(R2.10.13より) ■専用SNSフォロワー数(R2.10.13より) Instagram:428人, Facebook:84人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (9)関門シネマティックシティ (関門連携事業:関門景観協議会主催) | R3 □連携大学:北九州市立大学地域創生学群・西田ゼミ ■専用HP閲覧数:11,915(R3.10.14より) ■Instagram フォロワー数:769人(R4.10.1より) ■VLOG動画閲覧数:14,249回(R3.9.28より) ■マップ配布数:第1弾3,000部/第2弾4,000部(R4.10.1より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (10)北九州市都市景観賞 | * * * * * | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第9回北九州市都市景観賞の開催 | R3 ■都市景観賞応募総数:158件 ■フォトコンテスト応募総数:547件/市民投票数:941票 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第9回北九州市都市景観賞の啓発 (パネル展) | R4 ■都市景観賞パンフレット配布部数281部 ■関門シネマティックシティマップ配布枚数 vol.1: 324枚/vol.2: 365枚 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (11)地域景観プロジェクト | R4 □連携団体:折尾まちづくり記念館/NPO 法人北九州ピオトープ・ネットワーク研究会/九州 女子大学・佐久間教授 □連携大学:九州女子大学/北九州市立大学(景観スポット調査) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (12)北九夜行(夜間景観の魅力発信) | R4 ■専用HP閲覧数:3,198回(R5.2.27より) ■SNSフォロワー数:127人(R5.2.27より) □小倉城ナイトキャッスルとの連携、同イベントの入場券贈呈(プレゼント企画) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (13)景観教育(景観まちづくり学習) | 毎年度 ■実施校数:平成26年度から毎年1校:累計9校 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (14)その他景観づくりの推進 | * * * * * | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 関門景観魅力発信プログラム | R3 □北九大地域創生学群・西田ゼミの大学生による担い手育成プログラムの実施 (関門地域のフィールドワーク・レポート化・ラジオでの発信) □連携大学:北九州市立大学地域創生学群・西田ゼミ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 景観アドバイザー地域派遣 | - ■2件(R4年度:地域景観プロジェクト in オリオンテラス/ケヤキテラス八幡) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 能開大・景観づくり活動連携企画 | R4 ■民間 Web サイト「real local」関連ページ閲覧数:208回(R5.3.24より) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | (15)戦略的な情報発信 | - □観光・MICE・各種イベント等の機会を利用した戦略的な啓発・PR/多様な広報手段や広報 ツールを活用した情報発信 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

1-3. 考察

●平成31年4月「北九州市景観づくりマスタープラン」の改正以降、本マスタープランの実現に、向けた取組み(4つの柱)に基づき、様々な景観施策を企画・展開した。

- ①届出・協議による景観誘導／②景観資源の保全・活用
- ③景観づくりの普及啓発／④市民・事業者等の主体的な景観づくりの促進

●本市景観施策では、①届出・協議による景観誘導 ②景観資源の保全・活用(保全)に基づき執行する届出業務やデザイン協議、景観協定や景観アドバイザー制度を活用した景観誘導、さらには景観重要建造物の指定など、ハード的要素事業と、②景観資源の保全・活用(活用)③景観づくりの普及啓発④市民・事業者等の主体的な景観づくりの促進に基づき執行する企画事業などソフト的要素事業を組み合わせ、総合的に景観誘導を図っている。

| | | |
|-----------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①届出・協議による景観誘導 | | ■ハード的要素事業 景観法に基づく届出／屋外広告物デザイン協議 景観アドバイザー制度(地域派遣制度を含む) 景観重要建造物・都市景観資源 木屋瀬地区歴史的まちなみ保全 |
| ②景観資源の保全・活用 | 保全 | |
| | | 活用 |
| ③景観づくりの普及啓発 | | |
| ④市民・事業者等の主体的な景観づくりの促進 | | |

●ハード的要素事業として、コンパクトなまちづくりや地域の特性をふまえ、おもてなしの視点をもった景観づくりに対応するため、景観重点整備地区の追加、拡大及び景観形成基準の見直し等、計画の内容変更を行い令和2年4月1日に告示、令和2年10月1日に施行した。

●景観法に基づく届出は毎年120件程度を推移、屋外広告物とともに、景観計画及びその他要綱に基づき審査、協議を経て良好な景観形成への誘導を図っている。特に定性的な景観形成基準を補うため運用整理と職員の意思統一を図りながら、より適切な景観誘導に努めている。

●その他ハード的要素事業は維持しつつ、特にこの4年間は、あらゆる視点(多様な主体との連携、参画機会の創出、担い手育成、戦略的な情報発信、景観資源の有効活用など)を取り入れた企画事業(ソフト的要素事業)を重点的に実践してきた。これは、近年の景観施策の特徴でもあり実績・成果であると考えられる。

●あわせて、観光・MICE・各種イベント等の機会を利用した戦略的な啓発・PRとともに、多様な広報手段や広報ツールを活用した情報発信を組み合わせることで、北九州市の魅力発信と周知拡大に寄

与しており成果指標が示すよう一定の成果を得たものとする。

2-1. 成果指標の確認

北九州市景観づくりマスタープランでは、当プランの達成状況を確認する成果指標として、「行政評価に係る市民アンケート調査」と「市民意識調査(市政評価・市政要望)」を設定しており、景観講座参加者に実施した独自アンケートも含め確認する。

(1) 成果指標の確認

●行政評価に係る市民アンケート調査

(市内に居住する 20 歳以上の男女個人 3,000 人無作為抽出)

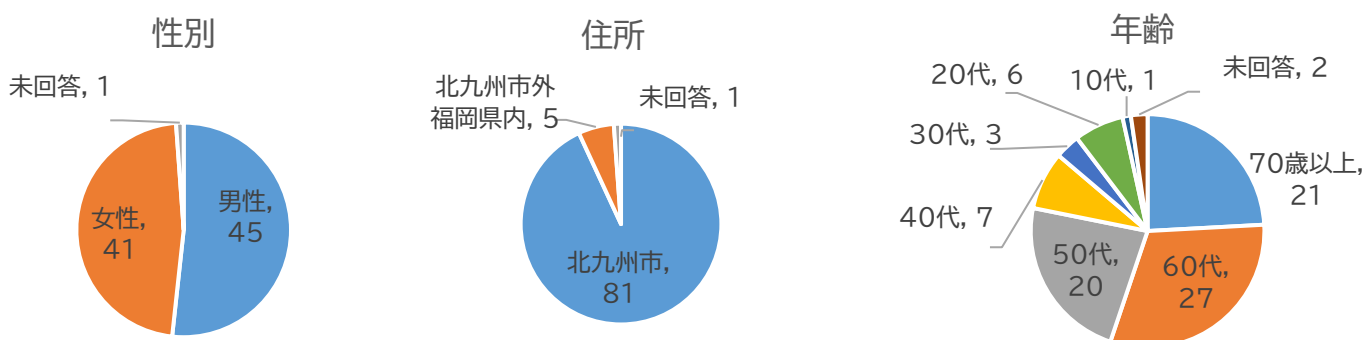
| | R1 | R2 | R3 | R4 |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 北九州市の景観が良くなったと思う市民の割合 | 70.1% | 71.3% | 71.4% | 70.0% |
| 小倉都心地区の夜間景観が良いと感じている人の割合 | 57.6% | 58.4% | 61.5% | 60.1% |

●市民意識調査(市政評価と市政要望)

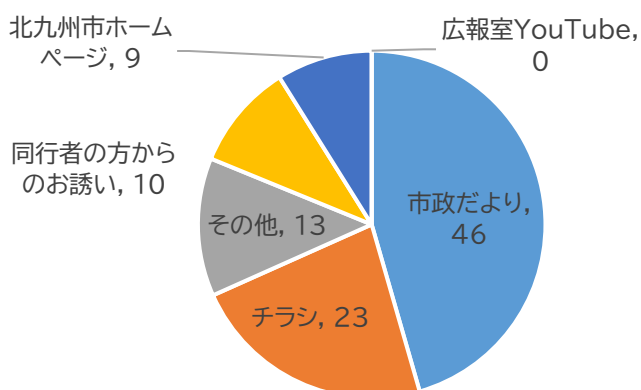
| | R1 | R2 | R3 | R4 |
|-----------------------|------|------|------|------|
| 「都市景観の整備」 評価順位(34 項目) | 8 位 | 9 位 | 10 位 | 8 位 |
| 「都市景観の整備」 要望順位(34 項目) | 28 位 | 29 位 | 27 位 | 27 位 |

(2) 景観講座参加者へアンケートを実施(北九州市景観講座 2023)

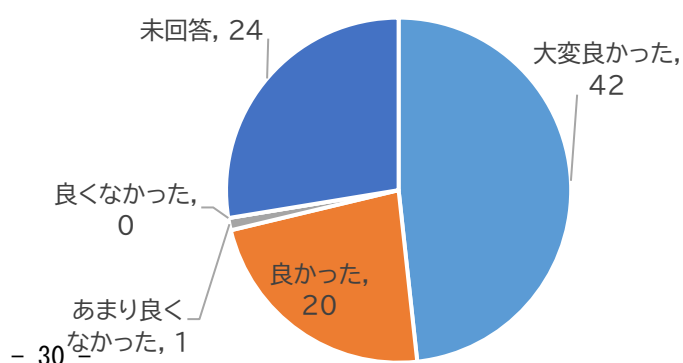
アンケート回答数:87 件



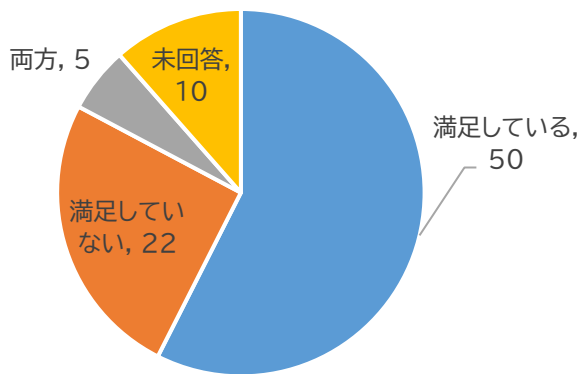
講座を知ったきっかけ(複数回答可)



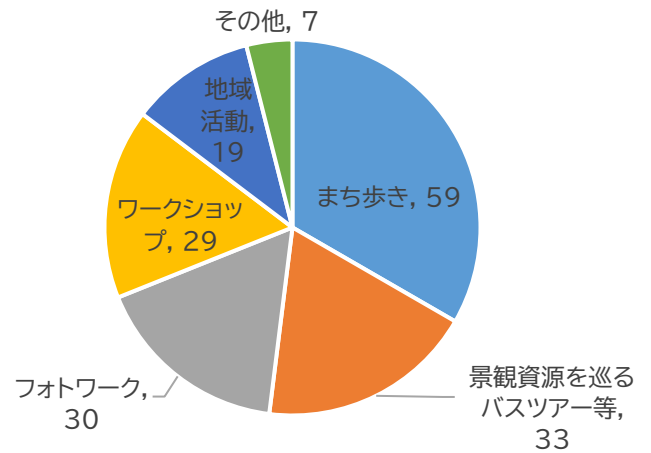
今回の講座について



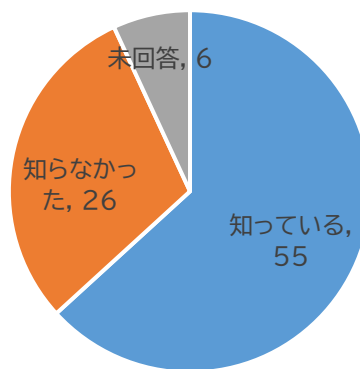
北九州市の景観の満足度



関心のある景観づくり活動(複数回答可)



北九州市都市景観賞を知っていますか



2-2. 考察

●市民アンケートによる市内の景観に対する評価は約 70%で推移、小倉都心地区の夜間景観の評価においても、近年、小倉城をはじめ紫川周辺、小倉駅周辺の公共施設等、ライトアップ整備が推進したこともあり、一定の評価を得ている。

●市民意識調査では、例年、評価順位と要望順位に大きな差があり、この結果は、現状満足型の施策として評価されている。

●いずれにしても長期的に取組みを継続してきたことが、市民に認知・評価されているものと考えている。

3. 今後の課題と対応

●景観法に基づく届出のDX化

現在、市民の利便性向上や業務の効率化等の目的で郵送受付を可能としているが、更なる向上・DX化を目指し、令和5年度内に、本市が推奨するデータ保管／共有システム・kintone を活用した「届出の電子化」供用予定。

(予定:押印完全廃止・電子申請化に伴い郵送受付廃止・メール返送により公印省略)

●景観アドバイザー制度の活用促進

近年の投資的予算の縮小等に伴い新規公共事業が減少する中、当制度を活用する案件も縮小傾向にある。関係部局による制度活用減少の中、都市景観課の業務(景観届やデザイン協議)に伴う専門家への意見徴収が増えているため、毎年概ね40件程度で継続している。

今後も関係部局に対する周知活動とともに、届出やデザイン協議おける民間施設の制度活用を誘致しつつ、その他アイデアを収取し検討していく必要がある。

●景観重要建造物の指定

景観重要建造物に指定されると、改築等現状変更に対する規制や所有者の管理義務が生じるため、指定にあたっては、あくまで所有者の意向を尊重することが基本である。

今後、既存建築物の保存にあたっては、所有者の意向を尊重しつつ、景観重要建造物の指定や相談に、適宜対応して必要がある。

●木屋瀬地区歴史的まちなみ保全の修理修景助成制度の見直し

令和2年度に補助要件の見直しを実施しているが、より一層の活用度を高めるため、補助要綱等改正(申請者の費用負担軽減を図るための代理受領制度の導入等)を予定。

●景観施策の推進(関係部局との連携)

昨今の行政改革の推進に向けた取組みのもと、縮小傾向にある組織体制と限られた予算の中、如何に景観施策(特に企画事業)を推進するかが課題である。今後は、景観資源と観光資源の共通点を見出し、観光部局やその他関係部局と連携した施策を展開していくことで、これら課題に対応していく。

・行政が扱う「観光資源」と「景観資源」は、地域の特性・財産といった観点では共通し、両者、観光や誘引の源泉となりえるものであるが、その使い方に区別をしてきた。

・「観光資源」は観光やレジャーといった余暇を楽しむ人々のために利用するものであり、その地域に人を集め、賑わいをもたらすツールであると考えられる。

・一方、「景観資源」は、それが地域の日常を形成し、地域の財産として、また我がまちに対する愛着や誇りを育み、将来に継承していくものである。これが第一義であり、観光的側面は二義的要素であると考えている。

●景観まちづくりの推進

これまでの4年間に発足した企画事業を継続すること、またこの企画実践を通してつくり上げた「人材」「ネットワーク」「仕組み」「きっかけ」を如何に次につなげ、展開していくかが課題である。これからの景観まちづくりでは、地域が抱える課題や多様化するニーズへの対応が求められており、アイデアを引き出し、市民が景観づくり活動に参画できる「きっかけ」を提供していく必要がある。

今後も「景観」に対する関心喚起(普及啓発)と景観づくりに対する動機付け(体験・体感)を意識し、ハード的要素事業と併せ、民間アイデアを取り入れつつ、景観づくりを推進し良好な景観形成を目指していく。

●戦略的な情報発信

これまで、様々な企画事業の実施とともに、活動内容や素材を使い、各種媒体(パンフレット、ホームページ、SNS など)やメディア(テレビ、ラジオ、Web など)を活用したり、観光・MICE・各種イベント等の機会を利用したりして、景観について戦略的に啓発・発信した。これまで同様、景観施策においては、その情報を啓発し発信することが大変重要であると考えており、この4年間の企画事業の実施において痛感したところである。

例えば、令和3年度に開催した第9回北九州市都市景観賞は、コロナ禍の影響もあり、著名人を登用するなど大々的に行っていた表彰式を縮小し、募集等の電子化及び受賞作品の啓発・発信にシフトした。

今後も新しい生活様式やSNS時代といわれる中であって、様々な啓発・発信方法を検討し、戦略的に実践する必要がある。